

日本型規制社会と知的生産

—— イタリアン・セオリーから学ぶもの ——

いわゆる知的生産者（一般に言う設計者、デザイナー、コンサルタントなどの専門家）の仕事、経済性の観点だけで測り規制する日本社会の体質はどこからきているのか
現代イタリア思想における政治への思考を起点として、これからの専門家活性化の方法を探る

神田順 Jun Kanda

日本大学理工学部建築科教授、東京大学名誉教授、建築基本法制定準備会長。「イタリアン・セオリー」（イタリア現代思想）に造詣が深く、そこにもとづき、日本の建築法制度の再構築へのアプローチをおこなっている



連健夫 Takeo Muraji

連健夫建築研究室主宰。早稲田大学、芝浦工業大学非常勤講師。日本建築まちづくり適正支援機構代表理事。設計活動に加え、まちづくりコンサルタントとしても活動している。利用者参加のデザイン、住民参加のまちづくりなど参加のデザインを推し進めている



山本想太郎 Sotaro Yamamoto

日本建築家協会デザイン部会長。坂倉建築研究所勤務を経て、山本想太郎設計アトリエ主宰。東洋大学・工学院大学・芝浦工業大学非常勤講師。建築設計の傍ら広範な建築デザイン論を展開。近著（監修）は「イラスト解剖図鑑 世界の遺跡と名建築」など



大倉富美雄 Fumio Ookura

在伊 10 年。日本インダストリアルデザイナー協会理事長、静岡文化芸術大学教授、日本建築家協会デザイン部会長などを経て、同支部役員、NPO 日本デザイン協会理事長。近著はデザインの近未来を占った「クリエイティブ【アーツ】コア—隠された領域を拓く—」



2019年2月26日（火）

18:15 ~ 20:00

会場 JIA 館 1F 建築家クラブ（東京都渋谷区神宮前2-3-18）

参加費 一般 1000 円、学生 500 円（飲み物代を含みます）

※ 継続職能研修（CPD）プログラム ID:00263267（2 単位）

※ 一般公開イベントですのでどなたでもご参加いただけます

※ ご参加の事前登録をお願いします（当日席もご用意します）

HP からのご参加登録（日本建築家協会）

<http://atyam.net/jia.html>



FAX からのご参加登録（日本デザイン協会）

03-3444-1573（お名前、ご所属、電話番号をご記入下さい）

イタリアン・セオリーとは、岡田温司の本の題名である。アントニオ・ネグリ、ジョルジオ・アガンベン、ロベルト・エスポジトラを中心に、人間性暖かいイタリア人が今の貨幣経済社会を断罪する。そして政治が生き方にまで介入していることは、日本の建築基準法規制にも見える。極端にいうと、芸術家も種々の専門家も、生み出した価値に見合う代償を得ようとすれば投資家に迎合することになったりしている。建築基準法適合が何を意味するか？何のためにあるのか？法適合の仕事させられている建築家は何を生み出しているのか。政治経済の制度を含め、建築家からの社会的発言を期待する（神田順）